第 53 回学会大会の優秀発表賞のお知らせ

口頭発表 20、ポスター発表 88 、全108演題の一般発表の中から、発表賞選考委員会により「優秀発表賞」が選出されました。またそのうち特に優れた発表について最優秀発表賞が2演題選出されております。

最優秀発表賞（2 演題/108 演題）

PB 1　八斗　啓悟　状態空間モデルと階層ベイズ推定法を用いたアスリートのコンディショニングとその個人差のモデリング

PB5　井上　純輝　心理的プレッシャーは捕球を崩すか　－VR高速ボール捕球課題を用いた検証－

優秀発表賞（9演題/108演題）

OA-1-3　豊田　隼　「何も教わらなかった」指導者はいかに自己を語り直すのか　－対人暴力の「時代」を生きた指導者に関する個性記述的アプローチ－

OC-1-3　宮田　紘平 個人間運動同期の神経基盤 －自他の運動ダイナミクスに着目した2者同時fMRI研究－

PA3　三枝　徹平　時間的制約がフェイントへの誤反応率に及ぼす影響 -側方ステップ課題による検討-

PA5　奥内　蒼馬　重力が上肢運動および運動イメージの時間的性質に及ぼす影響

PA16　下稲葉　耕己 知的障害者における聴覚・視覚ワーキングメモリ優位性とフィードバック条件の組み合わせがペダリング学習に及ぼす影響：適性処遇交互作用

PA24　熊谷　史佳　複数競技のアスリートにおける戦況認知とパフォーマンス変動　－劣勢からの立て直しと優勢からの崩れに着目した質的研究－

PA28　木村　文子　選手がアントラージュとの関係において 抱えるストレスに関する質的・量的研究

PA35　伊藤　萌々子 アスリート版援助要請に対するスティグマ尺度の開発

PB11　月岡　伊緒　個人の学習進度に応じた知覚トレーニングの開発　－Optimal Challenge Pointへの滞在を促す難易度調整法の検討－